

第67回全国高等学校PTA連合会大会「静岡大会」に参加して

高知丸の内高校 岡本利佳子

今回初めて、全国高等学校PTA連合会大会に参加させていただきました。メインテーマは『『有徳の人』づくり』、つまり個人として自立した人、人との関わり合いを大切にする人、より良い社会づくりに参画し、行動する人を育てていこうというものでした。



基調講演では、静岡大学名誉教授、小和田哲男氏により「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」という演題のもと、歴史上の有名な武将たちがどうして勝ち残れたのかということについて、様々なエピソードが紹介されました。当時武辺咄というものが盛んに行われ、体験談が先輩から後輩へ、親から子や孫へ語り継がれました。また、家臣の中にはこうした教えを記録して残していた者もいました。勝ち組の武将たちに共通するのは、子育てと人づくりに成功しているということでした。「家臣のどういうところがどのように役立つか見極めよ」「能力本位の人材抜擢」「自分好みを集めてばかりではだめ、自分の心を捨て、その人の長所を見ること」「埋もれた才能をどう掘り起こすか」等、現代の子育て、人づくりに役立つヒントを聞くことができました。また、学校がない時代の教育は、周囲からの体験談を聞いたり、僧侶から話を聞いたり学んだり、自分磨きの生涯教育であったということでした。子どもや人を育てることのコツや目指すところは今も昔も同じで、共感したり感心したりするエピソードばかりで、偉大な先人たちが身近にいるような不思議な感覚になり、70分の講演が短く感じられました。

第4分科会では、「家庭教育とPTA」というテーマに沿って、北海道室蘭清水丘高等学校、東京都立板橋高等学校、兵庫県立尼崎稲園高等学校、香川県立高瀬高等学校の実践発表が行われました。学校祭や文化祭において、保護者や地域の人からメッセージをもらってそれを共有したり、PTAのホームページを新設したりと各校の取り組みが紹介されました。それぞれ置かれた状況は違いますが、どの高校の保護者の方も「親も子どもとともに楽しむ」「多くの人とつながりたい」という姿勢でPTA活動をしていると感じ取ることができました。

また質疑応答の中で、子どもとともに活動することで「家庭では子どもとの会話が増えた」「いろいろな活動を通して子どもに先が読める力がついたのではないかと家庭で感じる」という感想も聞かれました。

全体を通して、多くの興味深い話が聞け、大変参考になりました。また、ややもすると自校の日々の活動に追われてしまいがちですが、全国で各校のPTA活動にもっと積極的に取り組んでいる人たちがいることを目の当たりにして、大きな視点で活動をとらえるヒントを得たように感じました。

最後になりましたが、川北会長、中村先生はじめ、同じ旅に出た高知県の各校の保護者の方、先生方との懇親会や何気ない会話の中からも、いろいろと学ぶことがあり、有意義な時間を持つことができました。ありがとうございました。

